

新春福祉交流セミナー開催要項

[趣旨]

近代の産業革命期から第一次世界大戦後にかけて大阪はわが国最大の産業都市であり、労働にたずさわる人々の問題を含むさまざまな社会問題が発生し、全国に先駆けて慈善事業から社会事業、さらに今日の社会福祉へと発展した歴史を歩んできた。社会福祉制度が十分に整っていなかった時代には産業の発達した大阪に人口が集中し、1925（大正14）年の第2次市域拡張計画で人口、面積とも東京を抜き日本第一で世界でも第6位の巨大都市となり当時は「大大阪」とよばれていた。しかし人口増加につれ衛生環境の悪い人口密集地帯（スラム）をはじめ、さまざまな生活上の問題が起こり、その対応策として「職業紹介所」や「保育所」、「公営住宅」、「市民館（セツツルメント）」、「感化救済事業」といった公的福祉が大阪では早くから行われ全国の模範ともなってきた。また、今日の民生・児童委員制度の前身である「方面委員制度」ができたのは米騒動が起こった大正期であり、戦後では、高齢者の生きがいと社会活動拠点としての「老人クラブ」を誕生させ、いま介護保険サービスの中核を担っている訪問介護も長野県上田市につき大阪市が「家庭奉仕員制度」として本格的に取り組み、公共の建物や場にバリアフリーを義務づけた「福祉の街づくり条例」を最初に提唱したのも大阪市である。

今回のセミナーでは、長い歴史をもつ「福祉の町・大阪」の近代以降の歩みを振り返り、大阪の福祉を拓いた先達の社会事業から新たな学びを得て、更なる社会福祉実践の発展につなげたいと願っている。

記

1. 日 時：**平成23年1月8日(土)** 13:00～17:00

2. 会 場：**大阪ガーデンパレス**(〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-3-35)
TEL 06(6396)6211(代表)

3. 企画内容

総合司会： 大阪ソーシャルワーカー協会 事務局長 **石 井 勲 氏**

基本テーマ：「日本の社会福祉はこれでいいのか」

第1部 基調講演 **「大阪の社会福祉」** 13:15～14:05 (50分)
講師 大阪体育大学教授 **山 本 啓 太 郎 氏**

第2部 シンポジウム **「福祉パイオニアの群像」** 14:20～17:00 (160分)
シンポジスト

「福祉施設を創った侠客～小林佐兵衛」
大阪地域福祉サービス研究所所長 **西 尾 祐 吾 氏**

「民生委員の父～林市蔵」
京都光華女子大学教授 **小 笠 原 慶 彰 氏**

「日本ライトハウスの創設者～岩崎武夫」
関西学院大学大学院 博士後期課程 **森 田 昭 二 氏**

コーディネーター：
大阪ソーシャルワーカー協会 会長 **大 塚 保 信 氏**

4. 参加費（資料代を含む） 会 員：（日本ソーシャルワーカー協会）無料
非会員：学生 500円 一般 1,000円

お問い合わせ：主 管：大阪ソーシャルワーカー協会

主 催 特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8番地 森山ビル西館4階401号室

(Tel:03-5913-8871 Fax:03-5913-8872 E-mail:jasw@jasw.jp)

下記申込票に所定の事項をご記入の上、FAX 送信をお願い申し上げます。

(郵便、E-mail も可)

締切日： 平成22年12月28日 (火)

FAX ; 03-5913-8872

E-mail : jasw@jasw.jp

新春福祉交流セミナー 参加申込票

氏名	TEL FAX 男・女 E-mail	
住所	〒	
所属		JASW会員 大阪SW会員 非会員 (一般・学生)